別記第８　教職課程に係る点検・評価項目及び分析における観点（全学）

|  |  |
| --- | --- |
|  | 評価 |
| 【教育理念・学修目標①】  １．教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画（教育学部の場合は当該目標及び計画に加え「学位授与の方針」，「教育課程編成・実施の方針」及び「入学者受入れの方針」  （３つの方針）。以下同じ。）の策定状況  ・具体的かつ明確な形で設定されているか。  ・教員の養成の目標と当該目標を達成するための計画（及び教育学部においては３つの方針）との関連性が明確か。 |  |
| 【教育理念・学修目標②】  ２．教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画策定とPDCAサイクルの実施  ・学生や教育委員会等の意見の考慮，所在する三重県の策定する「校長及び教員としての資質能力の向上に関する指標」との関連性の考慮が行なわれているか。  ・学生が教職課程での学修を通じて得た学びの成果（以下「学修成果」という。）を分析し，その結果を踏まえ自己点検・評価結果を行い，大学として社会情勢や教育環境の変化等を踏まえた適切な見直しが行われているか。 |  |
| 【授業科目・教育課程の編成実施①】  ３．複数の教職課程を通じた授業科目の共通開設など全学的な教育課程の編成状況と体系化  ・複数の教職課程間における授業科目の共通開設は，開設に責任を負う学科等の強み・特色を生かしつつ適切に行われているか。  ・法令及び教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画と対応し，必要な授業科目が開設され適切な役割分担が図られているか，教職課程以外の科目との関連性が適切に確保されているか。 |  |
| 【授業科目・教育課程の編成実施②】  ４．教職課程の授業科目の実施に必要な施設・設備の整備状況  ・ICT（情報通信技術）環境（オンライン授業含む），模擬授業用の教室，関連する図書など，教職課程の授業科目の実施に必要な施設・設備が整備されているか。 |  |
| 【授業科目・教育課程の編成実施③】  ５．ICTの活用指導力など，各科目を横断する重要な事項についての教職課程の体系化  ・教員として身に付けることが必要なICT活用指導力の全体像に対応して各科目間の役割分担が適切に図られているか。  ・到達目標や学修量が適切な水準となっているか。 |  |
| 【学修成果の把握・可視化】  ６．教員の養成の目標の達成状況を明らかにするための情報の設定及び達成状況  ・教員の養成の目標の達成状況を明らかにするための情報が適切に設定されており，それがどの程度達成されているか。 |  |
| 【教職員組織①】  ７．教職員の配置状況及び教員の業績等の把握  ・教職課程認定基準（平成１３年７月１９日教員養成部会決定）で定められた必要専任教員数を充足しているか。  ・教職課程を適切に実施するため，事務組織を設け，必要な職員数を配置できているか。  ・担当授業科目に関する研究業績の状況，担当教員の学校現場等での実務経験の状況等を把握できているか。 |  |
| 【教職員組織②】  ８．ＦＤ・ＳＤの実施状況  ・教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画への理解，並びに，教職課程を担う教員として望ましい資質・能力を身に付けさせるためのＦＤ・ＳＤが確実に実施されているか。 |  |
| 【教職員組織③】  ９．授業評価アンケートの活用と授業改善  ・授業評価アンケートの作成・実施，その結果に基づいたＦＤの実施を行うことで，個々の授業の改善が行えているか。 |  |
| 【情報公開】  １０．学外者に対する情報公開状況  ・学校教育法施行規則（昭和２２年文部省令第１１号）第１７２号の２のうち教職課程に関する部分，教育職員免許法施行規則第２２条の６に定められた情報公開が適切に行われているか。  ・大学は，教員になるために必要な資質・能力を備えた学生を育成できているかどうかを，エビデンスとともに説明できているか。  ・法令で定められた情報公開が学外者にもわかりやすく適切に行えているか。  ・教職課程の自己点検・評価に関して，根拠となる資料やデータ等を示しつつ，わかりやすく評価書を公表することができているか。 |  |
| 【関係機関等との連携①】  １１．教育委員会との連携・交流等の状況  ・教員の採用を担う教育委員会と適切に連携・交流を図り，地域の教育課題や「校長及び教員としての資質の向上に関する指標」を踏まえた教職課程の充実や，学生の指導の充実につなげることができているか。 |  |
| 【関係機関等との連携②】  １２．教育実習等を実施する学校との連携・協力の状況  ・学校体験活動や学習指導員としての活動など学校現場での体験活動を行う機会を積極的に提供できているか。 |  |
| 【関係機関等との連携③】  １３．学外の多様な人材の活用状況  ・学外の諸機関との連携の下，教育課程を充実するために学外の多様な人材を実務経験のある教員又はゲストスピーカー等として活用することができているか。 |  |

|  |
| --- |
| 上記の評価項目について，自己点検を行い，自己評価（２段階評価）を行う。  　〇評価　Ａ：該当項目を満たしている。  Ｂ：該当項目を満たしていない。（改善が必要） |

|  |
| --- |
| 【報告事項】  ※対象年度における取組状況（課題の改善状況及び特筆した成果等の状況を含む）又は現在の状況につい  て，総括したうえ簡潔に記載。 |
|  |

|  |
| --- |
| 【改善点とその改善方策】  ※自己点検の結果，評価Ｂの項目があった場合はその内容（どの項目か分かるように記載）と改善の方策を記載。 |
|  |